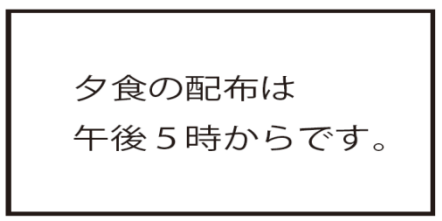
避難所内の
見えない・見えにくい人
ご支援ください。

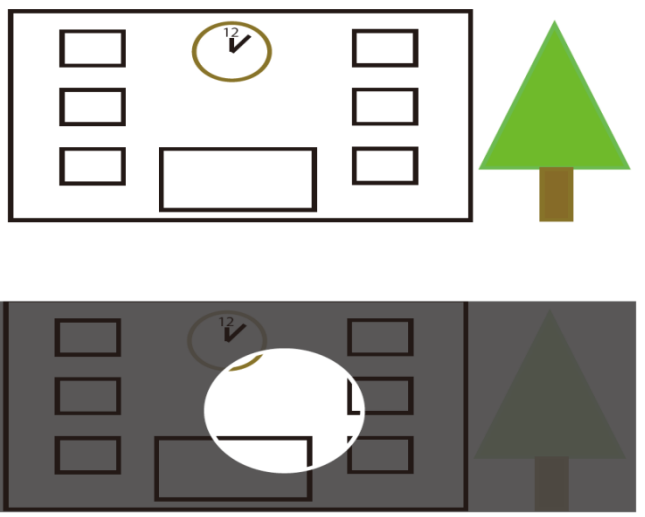
このリーフレットは日本ロービジョン学会のホームページからダウンロードできます。2016年度版

見えにくさにはいろいろあります

視力低下



視野障害

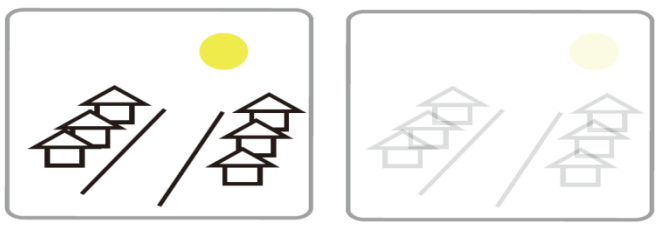


色弱

（柄や文字の表示で識別）

順応障害

夜盲



羞明（まぶしさ）昼間白くて見えにくい

見えない・見えにくい方と出会ったら

・支援者であることを告げる

・困っていることがないか聞く

・必要な時には、近隣の見えない・見えにくい方の支援団体を調べて紹介する。

（例）**視覚障害者福祉協会**
見えない・見えにくい方の当事者団体。
交流会やイベント行事等を実施しています。

点字図書館（情報提供施設）
録音図書や点字図書の無料貸し出しのほか、
様々な情報を提供しています。

リハビリテーション施設
見えない・見えにくいことをカバーするような機器の紹介、
使い方の訓練を実施しています。

ロービジョン外来 (眼科）
通常の診療に加えて、見えにくいことへ対応する情報を
受けられます。

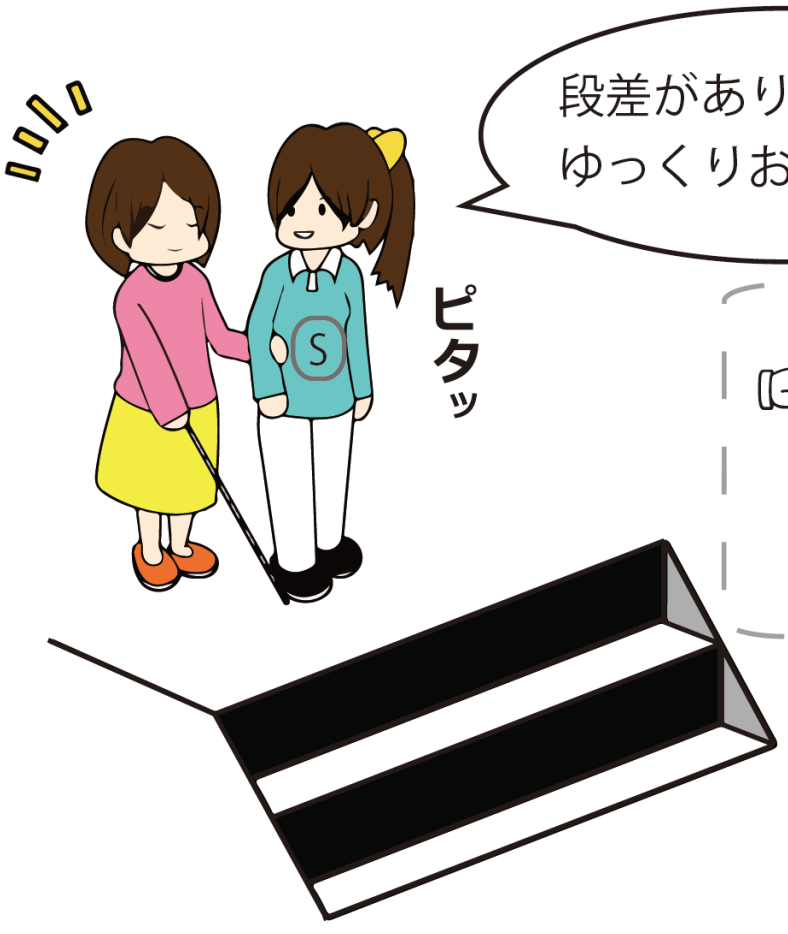
見えない・見えにくい方を
支援していただく方へ

・声をかけるときは正面から

・移動するときは肘を持ってもらう

・段差や危険な時は止まって説明

Ⓢ：支援者



☞ 注：段差の前と、段差が終わるところでは
必ず一度停止し、下りか上りかを
段差の前で伝えるようにしてください。

こんなことを支援してもらうと助かります

・読み書き、状況説明

注：必要な情報がないか聞いてください。
読むときは、いきなり全部ではなく、
概略から伝えるようにしてください。

・トイレの利用

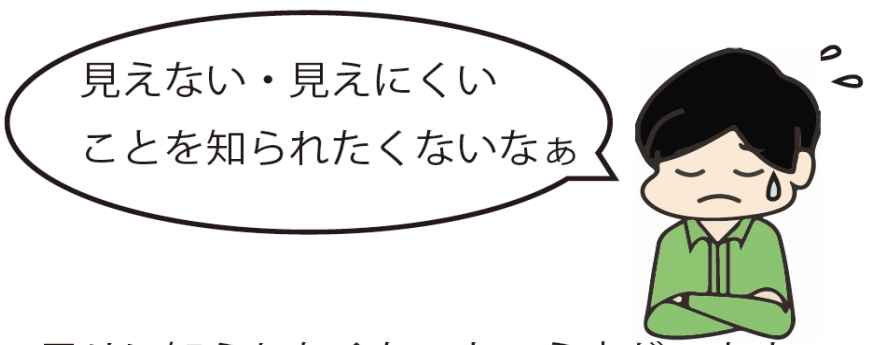
注：バケツで水を流す場合や、ペーパーをゴミ箱に入れる場合は、場所を伝えてください。

・食事等をもらうときに一緒に並ぶ　Ⓢ：支援者

注：周りの状況の説明もお願いします。

☞ 少し気配り

見えない・見えにくいことを
オープンにしていない人もいます



周りに知られたくないという方がいます。

困っていることへの支援は大切ですが、必要以上に関わったり、情報を押し付けることのないようにしてください。

見えにくいとその都度困ることがありますので、いろいろな場面でさりげなく支援できるといいです。